

令和5年 7月14日(金)

あさひの日だまり

NO.15

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～プール参観にご来校ください～

今年からプール参観を行います。期日は来週1週間を通じての開放とします。走るのが得意な子、絵をかくのが得意な子、泳ぐのが得意な子、その子の活躍できる機会を少しでも増やしてあげたいと考えて決めました。

ただ、その逆に、水泳が苦手だったり、泳ぐことが嫌いだったりする児童もたくさんいます。私は、泳ぎが得意な児童のご家族には、その活躍の様子をぜひほめてあげていただきたいと思います。そのことで水泳が得意な子は、自分に対して一層自信を深める機会となると思います。そして、泳ぎが不得意だったり好きになれなかったりしているお子さんには「この夏できるようになろうとして頑張ったことは何？」と聞いてあげてください。そのことができるようになったかどうかは問題ではありません。できるようになりたいと考えて一生懸命頑張ってきた事実がとても尊いことなのです。それは、水泳が得意な子がより速く泳げるようになったこととその尊さという点で全く同じ価値を持っています。どうぞ「そのことを頑張って練習しているあなたを見に行くね！」と声がけしてあげてください。

天気が良くなることを願っています。お待ちしております。

～3年生が昆虫教室に参加しました～

ミヤマシジミが見られるでしょうか



写真は校舎の裏に植えられた「コマツナギ」の木に飛び交う「シジミチョウ」を観察している3年生の様子です。ただし、お目当ての絶滅危惧種に指定されている「ミヤマシジミ」は飛来していませんでした。

観察の指導を下されたのは、ミヤマシジミ研究会の中村寛志様と辰野いきものネットワークの土田秀美様です。お話を伺うと、ミヤマシジミが生息しているのは辰野町では荒神山のみ（昔はあちこちに飛び交う姿が見られたのだそうです）で、しかも日本中でも、長野県の周辺の静岡県や山梨県を中心に限られた場所にしか生息していないのだそうです。「ここへミヤマシジミが飛んでくる可能性はありますか」と尋ねたところ「ありません」というお答えでした。



小さなチョウの体では、荒神山からここまでは飛んでこれないのですね。そこで、指導して下さったお二人が、箱型のハウスを用意してくださいました。コマツナギの一株をそのままかぶせられる大きさのハウスです。荒神山からミヤマシジミの成虫をここへ連れてきてハウスの中に放してくれるということです。辰野東小学校ミヤマシジミ繁殖作戦です。コマツナギの葉に卵を産んでさなぎになりやがてここにミヤマシジミを飛ばそうという計画です。

目の前を羽ばたいているシジミチョウを見て「これはミヤマシジミではありませんか？」と尋ねると、即座に「これは〇〇シジミですね」と答えて下さることでした。私にはどうしても判別がつかないのです。標本になっているものを見せて下さいましたが、それでも見分けが付きませんでした。さすがに研究を続けておられる方はプロだなと感心しました。

夏休み中には荒神山から成虫をむかえられるということです。休みの後半ならばハウスの中のミヤマシジミが見ら

れるかもしれません。お時間がありましたら、観察にご来校いただければと思います。学校の敷地の中の校門とは逆のフェンス沿いにコマツナギが植えられています。私も夏休み中に何とか他のシジミチョウとの区別がつくように観察眼を養いたいと思います。

「コマツナギ」が町のあちこちに育って、子どもたちが成長したら、辰野の町の中にミヤマシジミが飛び交うようになったら素敵だなと思います。

～豊南短大の学生が1年生と交流しました～

次は短大を訪問します

幼児教育学科の赤間学科長様から「学生との交流のために1年生を学校に招きたいのですがいかがでしょうか」というご依頼を受けました。大変ありがたいことだと思いましたが、単発の交流では学生さんたちにとっても子どもたちのことを知っていただくには不十分だと思い「ぜひ継続して交流ができればよいと思うので、まずは学生さんたちに学校を訪問していただき、子どもたちと交流することから始めませんか」とお願いをしました。赤間先生にも快諾していただき、1年の先生方にも協力していただけることとなりました。そして、11日に学生さんたちを学校へ招くことができました。



当日は30名ほどの学生さんと先生方が来校されました。2班に分かれて、1組と2組のそれぞれに入ってもらって交流しました。どの学生さんたちも、幼児教育を志す学生さんだけのことはあり、子どもたちの中に入って積極的にかかわりを持とうとしていました。子どもたちもとても楽しそうに手をつないだり声をかけあったりしながら交流していました。

どちらのグループにも数名の男性の学生がおり、「幼稚園の先生は女性」という偏った意識を持っていた私にとってはとても新鮮な感じがしました。大学の先生にそのことをお話ししたら「男子学生は幼児教育に対する意識がとても高いです」とお話ししてくださいました。お別れの会をのぞかせてもらったら、学生の名前を憶えて感想を伝えている子どももおり、互いの名前や顔を覚え少し関係を深められてから2回目の交流ができることになって、嬉しい気持ちになりました。

交流した学生さんたちが、長野県のあるいは全国あちこちの地で未来を担う子どもたちを大切に育ててくれることを心から願っています。

～コールドリームの皆さん応援しています～

合唱南信大会への壮行会を行いました



今月末に行われるNHK合唱コンクールの南信大会へむけて、コールドリームの皆さんの壮行演奏会が行われました。音楽集会の時間を利用しておこないました。自由曲の題名は「花色カメレオン」です。早朝から練習を重ねてきた成果を聞かせてもらいました。コンクールでは、練習してきたことを精一杯表現できることを祈っています。

東小では、「あさひ相談室」（中校舎1階の保健室です）という部屋を設置し、養護教諭が担当しています。児童や保護者の皆様、悩みや相談事がありましたらご利用ください。電話の相談でも結構です（TEL：0266-41-0066）。